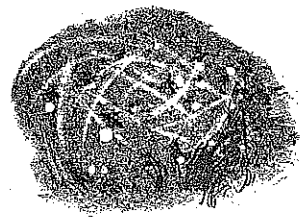


二 ほたるの里を守りたい

毎年六月になると、公園はホタルの輝きで光の海になります。その美しさにひかれて、たくさんの人々が「出の山公園——ほたるの里——」を訪れます。私は、このふるさとの美しいホタルの姿を見るたびに、ホタル保護のために飛び回ったこれまでの日々を思い出すのです。



あれは、昭和五十五年夏の夕暮れのことでした。私は、夕涼みがてら家の近くにある出の山地区用水路まで散歩に出かけました。そこで私が目にしたのは、まるで光の波のようなホタルの輝きでした。私はホタルの美しさに心を打たれると同時に、ふるさとの自然を誇りに感じました。

しかし、この時すでに、このホタルの生息地は、用水路の護岸工事を間近に控えていたのです。用水路は工事によつてコンクリートで塗り固められる計画でした。コンクリートで固められた用水路では、エサの巻貝もなく、ホタルは生きていけません。もちろん水草がないために卵を産み付けることもできないのです。これでは、この地のホタルは絶滅してしまいます。

(ホタルの美しさを、ふるさとの自然のすばらしさを、何とかして残していかなければ……。)
私はその思いでいっぱいでした。

(とにかく、護岸工事を中止してもらおう。)

私は、市と市民の皆さんの協力を得ようと、必死にホタルの保護価値と自然豊かなふるさとづくりについて、訴えました。ところが、周囲の反応は私の願いとは違ったものでした。

「ホタルのための用水路じゃない。」

「護岸工事をして、用水路を守る。そうして、いい米を作ることが、ふるさとの発展につながるんじゃないのかね。」

「ここまできて、今さら、工事を中止することができるもんか。」

たくさんの意見が私に投げかけられました。

(自然の豊かなふるさとづくりに、ホタルの保護は不必要なことなのだろうか。)

私は自問自答を繰り返し、悩みました。

しかし、私の考えを理解してくれる友人の支えもあり、まずはホタル保護への協力を呼びかける活動から始めることにしました。

「やっぱり、この町を美しいほたるの里にしたい。そして、ホタルを町のシンボルにしよう。」

「そうだ、自分たちの手でふるさとをつくっていこう。」

こうして、私と友人は活動を続けていく決意を新たにしました。

昭和五十六年、私と友人の意見に賛成してくれる人々がようやく見つかりました。仲間五名が集まり、「出の山ゲ



ンジボタル自然保護会(通称・小林ほたるの会)」を結成することができたのです。私たちは、ホタルの保護をしながら、市に工事内容の変更の陳情ちんじやうを続けました。しかし、残念なことに並行して護岸工事は続けられていたのです。

「人間の生活も大切です。しかし、生き物と共存して生きていくことも大切ではありませんか。」

「ホタルを町のシンボルにし、自然豊かなふるさとづくりをしていきませんか。」

「人間の側からだけの環境づくりで本当にいいのですか。」

私たちはホタルの実態調査を行い、ホタルの生息状況の把握はあくと保護を続けました。また、ホタルの観賞のために公園にベンチを作ったり、公園の整備を行いながら「ほたる祭り」を開催かいさいしたりして、市民にホタル保護への呼びかけを続けました。

昭和五十九年、ようやく努力の実る日がやって来たのです。コンクリートによって追いつめられる予定であったホタルのすみかがひとまず守られることになったのです。川のすべてをコンクリートの用水路にする計画は、川底を除いて実施されることになったのでした。

夏のホタルの季節になると、毎日、夕方から出の山公園に出向き、観光客の道案内や駐車場の整理、公園内の清掃などさまざまな活動を行いました。

(ホタルの美しさやこの町の自然のすばらしさを知ってほしい)、そんな気持ちでいっぱいだったのです。そして、このころには恒例こうれいとなっていた「ほたる祭り」の企画や運営に忙しい毎日でした。

活動を始めてから約九年が過ぎようとしていたある日、出の山公園のゲンジボタルが大きくニュースに取り上げられることになりました。それは、平成元年のことでした。出の山公園がゲンジボタルの生息地として、環境庁の「全国ふるさといきものの里」に認定されたのです。それからたくさんの方が市民が関心を持ち、ホタルの保護に関しても協力を得ることができるようになりました。今では、小林の名所として全国からたくさんの方が訪れます。

(ほたるの里を守ろう…)

今、これまでの活動がようやく実を結び、ホタルと人とが共存したふるさとになりつつあります。

ここ小林だけでなく、県内のあちこちでもホタルの保護活動が始まっています。たくさんの方々が自然あふれるふるさとになってほしいと思います。

私は、ふるさとの自然の美しさを守るために、これからもホタル保護の活動を続けていきます。



出の山公園のホタルの生息地